

(付記) 以上の記録は弘世貴久氏から“きべりはむし”の短報として送って頂いたものですが、“きべりはむし”の発行が不定期だったので発表する機会がなかったものです。今回いさゝか前の記録にはなりましたが整理をして発表記録しておきます。大変遅くなり投稿して頂いた弘世氏に深くお詫びします。(高橋)

アカジマトラカミキリ赤西溪谷に産す (兵庫県産甲虫相資料。67)

高橋 寿郎

アカジマトラカミキリ (*Anaglyptus bellus* Matsumura et Matsushita) は従来兵庫県下からの記録がなかったと思はれる。1978年9月9日機会があって赤西溪谷へ行った際道端の草上にて美しい1♀を採集出来たので此処に記録しておく。この様に美しい種が今迄採集されていなかったのは不思議であるが出現期が8月中旬~9月中旬にかけてということから見落されていたのかも知れない。

神戸市内におけるハリサシガメの産地

高橋 寿郎

ハリサシガメ (*Acanthaspis cincticrus* Stål) は図鑑にも図示されており(江崎, 1950, 宮本, 1965)、本州、九州、支那に分布、体長も1.45~1.6mmとやや大形のカメムシであるが余り多くない種とされている。兵庫県下からの記録も筆者寡聞にして全く知らなかった。

1975年8月13日神戸生物クラブ鑑定会に市内の小学生が垂水区のゴミの中から採集したと行って持参同定を求められて始めて本種が神戸市内にいる事を知った。至9月1日の日経に大阪市立自然史博物館の同定会にも大阪で始めての記録であるという本種があったとの報導が発表されていた。やはりこの付近では珍品に属する種のような。たまたま1978年9月2日神戸市兵庫区鳥原貯水池の堰堤上を歩行中の本種を採集することが出来た。付近を詳しく探し、翌日も行って探して見たが他の個体を見出し得なかった。幼虫はアリを嗜食し、その死体を背負う性質があるとのことであるから本種の生態もわかっているのかも知れない。どちらにしても神戸市内に産する種で兵庫県下での池の産地を調べて見たいと思っている。